

樟彩

～ 岩田学園だより 2024年8月号 ～



目次	p
校長より・表彰	1
学園祭に向けて	2
前期プレゼンテーション大会	3
中1 夏季合宿	3
高1 夏季合宿	4
部活動結果報告	5
部活動結果報告(つづき)	6
部活動結果報告(探究部/メタバース)	7
保健室より	7
高校生外交官プログラム参加!	8
総務より	8

第60回大分県書道席上揮毫大会
 推奨 臨書の部 5-4 荒木亜文
 推奨 創作の部 5-2 野村心春

第52回山口ギターコンクール
 中学生の部 銅賞 3-1 徳永萌木

第8回 歯と口の健康標語コンクール
 大分県知事賞 2-1 玉井愛大

大分県中学校総合体育大会 陸上競技
 2年男子1500メートル 記録 4分27秒34)
 第3位 2-2 矢野功一郎

第42回高山辰雄賞ジュニア美術展
 推奨 4-1 大戸美海花
 佳作 4-1 宮川真由香 4-2 橋永真帆
 4-3 米田華子 4-4 宮脇克典
 3-2 岩崎綾乃 3-2 畠山悠祐

第39回私立高等学校体育大会テニス
 女子団体戦 第3位

“シグナル”

～すべては青春時代の明るい記憶へ～

校長 児玉 洋司

夏休みが終わり、皆さんが元気に戻ってくるのを楽しみにしていました。この暑い夏休みが過ぎ、新しい学期が始まるにあたり、皆さんにいくつかのメッセージを伝えたいと思います。

1学期の終業式では、“You can always change. If you think you can't change, you're wrong.”『人はいつでも変わる。ベターチェンジできるんだ。』というメッセージを伝えました。2学期は、ベターチェンジした結果が成果として現れる期間となるでしょう。結果を他人と比べる必要はありません。大切なのは、前の自分と今の自分との比較です。この比較を通じて行動を変えることができれば成長につながります。

ここで、夏休みが充実しなかった人へ特別にメッセージを送ります。『それも人生の一部となり、あなたの今後の人生に繋がるでしょう。ただし、悲観する必要はありません。今から取り返せば大丈夫です。目標到達時期に間に合うかは気にしないでよいです。過去の反省から逃げることなく、攻めの姿勢で臨みましょう。具体的な行動プランを立てることからスタートです。』

高校3年生にとっては、高校生活最後の2学期となります。APUコースは『到達度試験』や『卒業論文』、IWATAコースは『総合型選抜入試』、『大学共通テスト』から、『私立大学や国公立大学入試』に向けた正念場の学期

です。

焦ることはないですが、時間を惜しみ、集中力を高めて臨みましょう。色々と遊びたいことや、友人との付き合いもあると思いますが、来年できることは今年は我慢すべきです。我慢は決して苦痛や罰ではありません。志望校突破に向けて、チーム一丸となってめざしましょう。

高校2年生、高校1年生は、学校最大のイベントである『学園祭』の成功に大きな役割を果たします。あなたたちが企画・運営をリードする役割を担います。集団を動かすのはとても大変ですが、最高の思い出となるとともに、進路実現に向けて大きな契機となるでしょう。今年の学園祭テーマは、“シグナル”です。これは、「合図」、そして「なにかを始めるキッカケ」という意味で、これからの人生で不条理なことに直面しても、臆すことなく勇気をもって挑戦していこうという思いが込められています。

中学生は、学園祭を通じて『岩田に入って良かった。』と胸を張って語れるよう、同級生や先輩、後輩、先生との交流を深めていきましょう。そして、『自分が岩田の伝統を継承し、発展させる。』という気概で取り組んでほしいと思います。

それでは皆さん、今日から新たな気持ちで、勉強や部活動、それぞれの係の仕事に取り組みましょう。

第8回 歯と口の健康標語コンクール 大分県知事賞 2-1玉井愛大さんの標語

「きれいな歯 キープし拓く 輝く未来」

「新しいことに挑戦すること。」

生徒会長 津村 明希

それは、多くの人の支持を得られるとは限りません。以前までの考え方や常識を覆すものになり得るからです。未知への不安を感じ、奥手になってしまう人もいるかもしれません。しかし、何か変化をもたらすためには、挑戦は必要になってくると思います。今年の学園祭は、多くの新しいことに挑戦しています。今年の学園祭をどのようにすればより盛り上がるか、どのようにすればより充実した学園祭を提供できるか、逆境もある中で必死に考えてきました。そして、それは僕たち5年生だけ

ではありません。例年に比べて圧倒的に少ない準備期間の中で、創意工夫や努力をして、それぞれが良い作品を作り上げようとしている全校生徒の皆さんや、その生徒を支えてくれる保護者や先生方のおかげで、着実に学園祭は成功へと近づいています！

とうとう夏休みも終わり、本格的に学園祭準備が始まります。学園祭当日を想像して、楽しんで、ワクワクしながら準備をどんどん進めていきましょう！

～2024学園祭について～

特活主任 宮川 修一

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

学園最大の行事である『学園祭』が、いよいよ近づいてまいりました。今年度は9月12日（木）から9月15日（日）までの4日間にわたり開催されます。

本校の学園祭は、すべての生徒が全力で取り組む伝統があり、生徒たちにとって「学園生活で一番の思い出」として語られる大切な行事です。比較的少人数の本校ならではの強みは、学園祭をはじめとする学校行事において、生徒全員が何かしらの役割を担い、主役として活躍できる貴重な体験ができることにあります。

4日間にわたる学園祭を生徒主体で運営する学校は他にあまり例がなく、生徒一人ひとりが責任をもって取り組むことで、大きな達成感と自信を得られます。これにより、他校では一部の生徒しか体験できないようなことを、岩田の生徒全員が経験できるのです。

学園祭を創り上げた達成感は、生徒たちにとって大きな財産となることでしょう。今年度も、学園祭を通じて多くの困難に直面することが予想されますが、それらを乗り越え、大きく成長してくれることを期待しています。

さて、生徒会執行部からのお知らせにもありますように、今年度の学園祭においてはいくつかの変更点がございます。以下に詳細をご案内いたしますので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。

1. 5年生と4年生による共同開催について

これまで本校の学園祭は、5年生が中心となり企画・運営を行ってまいりましたが、『生徒主体で創り上げる学園祭』のさらなる推進をめざし、今年度は5年生と4年生が共同で学園祭を企画・運営する形に変更いたします。主要な運営は引き続き5年生が担当いたしますが、4年生全員が学園祭スタッフとして参加し、先輩の指導のもとで企画・運営のノウハウを学びながら、次年度の学園祭へ向けた準備を行います。この取り組みにより、より充実した学園祭となることをめざしております。

2. 前夜祭の実施について

今年度は新たに前夜祭を実施いたします。参加は希望者に限られますが、生徒たちが一体となって楽しむ機会として企画されました。ぜひご参加をご検討ください。

■日時：9月11日（水） 18:00～19:00

■場所：本校体育館

（駐車場は職員駐車場・4号館周辺をご利用ください）

■内容：DJイベント

3. バザーの休止について

例年、学園祭の一環として行っていたバザーですが、準備や仕分け作業など保護者の皆さまをはじめ多くの関係者にかかる負担が大きいことから、今年度はバザーを一旦休止させていただくことになりました。今後、より効率的な運営方法が整った際には再

開を検討いたします。なお、チャリティー企画として行っている『小児癌支援のためのレモネードスタンド運動』は引き続き実施いたしますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4. 学園祭イベントの限定配信について

遠方やお仕事の都合で学園祭にお越しいただけないご家族のために、報道部が一部の学園祭イベントを限定的にLive配信する予定です。詳細なスケジュールや視聴方法は後日、学校のBL ENDにてお知らせいたします。なお、生徒が主体となって配信を行うため、配信環境の不安定さによる中断などが発生する可能性がございますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

5. 学園祭2日目の私服やメイクの規程緩和について

本校の学園祭2日目は『イベントステージ』が開催されます。体育館や野外ステージで、歌やダンス、クイズ大会など多彩なプログラムが行われ、生徒たちは1年に一度のスクールフェスティバルを存分に楽しむ日です。例年、この日は希望者のみ私服での登校やステージ出演時のメイクが許可されていましたが、多くの細かな規定がありました。

今年度は試験的に、その細かな規定を撤廃し、『キャンパスファッション』、『キャンパスメイク』という大枠のルールに変更いたします。将来の大学生活を意識し、「勉強にふさわしいキャンパスでのファッションやメイク」とはどのようなものかを、生徒自身に考えてもらうことを目的としています。自由だからこそ責任を伴う選択が求められ、自覚と誇りを持った服装を選ぶことが重要です。このことは生徒たちにとって挑戦となるかもしれませんが、自分自身の判断力を養う貴重な機会になると考えています。

この新たな取り組みを支えるために、生徒会執行部は啓発活動に力を入れる予定です。また、家庭科の授業においても、『オシャレ』と『身だしなみ』の違いや、適切なキャンパスファッション・メイクについて学ぶ機会を設ける予定です。これにより、生徒たちが自らの判断で適切な選択をできるようサポートしてまいります。

9月2日から学園祭準備期間に入ります。そのため、残留届けを提出した生徒につきましては、通常よりも帰宅時間が遅くなる場合がございます。お子様の体調管理や精神的なサポート、さらには学業との両立のために、保護者の皆様のご協力が不可欠となります。どうぞ引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本校の学園祭は、前夜祭を含めたすべての日程において、保護者の皆様には自由にご見学いただけます。お忙しい中とは存じますが、ぜひお越しいただき、生徒たちの努力の成果をご覧いただければ幸いです。なお、ご質問やご意見がございましたら、ご遠慮なく学校までお問い合わせください。

～前期プレゼンテーション大会～

7/17(水)にAPUで行われた前期プレゼンテーション大会では、高校1年生と2年生がそれぞれのテーマに基づき、グループごとに発表を行いました。高校1年生は、諸外国のSDGsについて調査し、初めての発表ながらも堂々とプレゼンを行いました。鋭い質問も飛び交い、その意欲が伝わりました。一方、高校2年生は、現代社会における諸問題を解決するためのビジネスをテーマに、2年目ならではの自信に満ちた発表を披露しました。内容や質問の質も非常に高く、見応えがありました。全体を通して、どの発表も完成度が高く、大変素晴らしいものでした。ご指導いただいたTAの皆様にご心から感謝申し上げます。

APUコース主任 牧野 佳木

☆最優秀賞☆

高1

グループ D

Dear India～私たちからの贈り物～
(中井, グエン, 福島, 峯)

高2

グループ A

「非日常をあなたに」
(荒木, 續, 高橋莉, 村上, 稲石)



～中1夏季合宿～

7月18日, 19日に中学1年生は熊本県の国立阿蘇青少年交流の家に夏季合宿に行ってきました。雨も心配されましたが、熊本は天気が良く全てのイベントを屋外ですることができました。暑い中でしたが、生徒たちはいつもとは違う阿蘇の自然の中で伸び伸びと活動し、新しい友人たちとの宿泊体験をとて楽しんでいました。

活動は、まず初日は、緑多い山道で赤牛に触れ合いながらマークを探して歩くオリエンテーリング。このイベントでは1組2組の混合班を作ったので、最初は不安そうでしたが、最後はとても仲良くなって帰ってきました。山を越え谷を越えるコースで汗びっしょりでしたが、いい思い出となったようです。午後は学年イベントとして学園祭の発表とドッジボールをしました。身体を思いっきり動かし多に盛り上がりました。その後、就寝前の真っ暗な中、外に出て天体観測をしました。事前の出発式で校長より話のあった星座をみんなで探しました(雲で見えませんでした、残念!)。次の日の午前、飯盒炊飯です。薪を割ったり火をおこしたりするのはなかなか日頃経験できないので、手探りながらみんなでワイワイ言いながら進めました。どの班もとてもおいしいカレーができて、自然の中でみんなでお腹いっぱい食べました。

全てのイベントで、生徒たちが時間より早く集まってくれたのでスムーズに始めることができました。挨拶もしっかりできて岩田生としての自覚も芽生えたのではないかと思います。阿蘇の自然を堪能しながら、42回生の生徒間・生徒と教師間の絆を深めることができ有意義な夏季合宿となりました。保護者の方には準備や送迎のご協力をして頂きありがとうございました。

中1学年主任 矢野 裕美子

以下は生徒の感想の一部です。

○「体験したことがないようなことを沢山できた密度の高い二日間でした。活動量が私にはすごく丁度良く楽しかったです!山に囲まれた大自然を感じることができたのが、すごく記憶に残りました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。」

○「オリエンテーリングで喋ったことがない2組の人と一緒にの班で不安だったけどこの合宿を通して仲良くなれて嬉しかった。めっちゃ楽しかった!!もう一回行きたい!!」

○「やっぱり自然の中にいるとみんな生き生きしていた。疲れがなくて家に帰ってからもすごい元気だった。」

○「集合などの時、予定時刻より早く集まっていた、予定がとまることなく進めることができてよかった。」

○「今回掃除もシーツつけたりするのも何でもかんでも自分でやるのが多く大変でした。友達と何するにも協力したり、時間厳守だったりとそういうのが最も大切ということも学べました。」

○「山登りやカレー作り、バスで一組の人や二組であまり話さない人とも話せて、仲を深めることができました。合宿を通して阿蘇の自然のことや、赤牛を見ることができ、自然の家に来ていた人達にもあいさつをすることができました。久しぶりに自然にふれ合うことができたので楽しかったです。」

○「飯盒炊飯や部屋班では、いつもの学校では知らなかった友達一面を見て、あんまり喋らなかった友達と距離が縮まった気がして嬉しかった。」

○「いつもスマホでみんなと話したり、インターネットが中心の生活が、夏期合宿を通してみんなと関わり、知れたことも沢山あったので、みんなのことをもっと知りたいと思ったのと、もっと話したいと思えるようになりました。」



7月18日(木)～19日(金)にかけて39回生高校1年生は夏期合宿に行ってきました。これまではコロナ禍のため多くの行事が縮小・精選されてきて、小学校の修学旅行も県内の日帰り旅行であったり、中学生になっても宿泊訓練等の体験が出来ずにいました。宿泊をとまう今回の行事は生徒達にとって待ちに待った心躍るものでした。

1日目の午前は別府市の『社会福祉法人太陽の家 オムロン太陽(株)』を見学し、午後からは杵築市の『住吉浜リゾートパーク』で、『ABC野外教育センター』スタッフ藤谷さんと2日間の様々な教育活動に取り組みました。『オムロン太陽』は日本で初めての福祉施設・身障者・民間企業の合弁会社で、「世に心身障がい者はあるにしても仕事に障害はありえない」という信念のもと、障がい者と健常者の方々が電気機械器具を製造されています。『住吉浜リゾートパーク』はかつて大分でも名を馳せたりリゾートホテルで、現在は教育機関に向けて施設が開放され、県内外多くの学校が教育研修で利用しています。その敷地内に『ABC野外教育センター』があり、青少年の育成や社会教育・国際理解の推進につながる活動に取り組むNPO法人です。

オムロン太陽では2グループに分かれて現地職員の方の案内のもと見学をしました。ミュージアム施設内では多くの展示に実際に触ったり使用することができたり、視聴体験型の装置を使うことができ、お箸ひとつにしても様々な目的に合わせてユニークな形状なもの、重りを装飾したものがあり生徒は興味津々でした。また、ポッチャという2チームに分かれて小さな玉を使ってカーリングのような要領で楽しめるパラスポーツを体験しました。拍手が湧いたり、声援があがったり、名前を呼んで誉め合い、少しスポーツが苦手な生徒もみんな楽しんでできました。工場見学では、「心身において出来ること出来ないことを確認できるカード」「車イスのタイヤをきれいにする玄関エリア」「作業工程ごとに整理された部品容器」「机イスやボタンの高さ」「身体の困りをカバーする製造装置」など1つ1つに「工夫」や「思いやり」がありました。ここまでの研鑽に満足せず、これからも改善・提案の歩を止めない姿勢や、誰もが働きやすい職場・生活しやすい環境を目指す姿勢に大いに学ばせられました。最後は全員が車イス体験をさせてもらいました。自動車学校の路上教習場のようなコースが設けられていて、健常者が何気なくまたいでいる小さな段差や緩やかな坂の勾配にも車イスで悪戦苦闘する経験を経て、今後の人助けや共生の意識がより芽生えたことが生徒たちの言葉から感じられました。

かつて歌川広重によって六十余州名所図会の豊後蓑崎として描かれた景勝地としても知られる国東半島の南東に位置する住吉浜リゾートパークで、今風に言えば眼前に広がるオーシャンビューに生徒の気持ちは解放され、美しい環境のなかで自然を楽しみながら活動に取り組みました。

【活動①】到着後に昼食を食べ終えた生徒は屋外に出て、ゲーム感覚で何度も小グループをつくりかえながら、その中でクラ

スマイトについて新しい発見や互いの共通点をたくさん見つけました。多くの生徒が望んでいたIWATAコースとAPUコースの交流が校内のLHR以来に再現されました。クラスや男女の垣根を越えた仲間づくりができ、39回生の絆が深まりました。

【活動②】海岸へ移動し、海的环境についてお話を聞き、ゴミ拾いをしながらSDGsについて考えてみました。後半、使わなくなった布類をみんなで適当な大きさに切り分け持ち帰りました。家庭からの廃棄水で一番汚れが出るのは台所です。食器のつけ置き洗いのときにこの布で汚れをサッとぬぐっておくと、洗剤の量が減らすことができます。我が家でも予想以上の活躍ぶりに感動しています。

【活動③】ここからの活動は屋内の大研修室で、1日目最後はジョハリの窓をつかった自己概念形成に取り組みました。「自分から見た自分」と「他人から見た自分」の情報を切りわけて分析することで自己発見につなげて、コミュニケーションの円滑な進め方を考えることができました。

【活動④】2日目にはいって生徒たちはますます活発になっていきました。各グループから1名が正解の絵を記憶して、自分のグループに言葉のみで説明して、どれだけ正確な絵に近づけられるかというゲームをしました。次に言葉やジェスチャーを用いず3本のロープのみを形づくることで、自分のグループに正解を当ててもらうゲームもしました。抽象的なイメージを伝えることの難しさだけでなく、聞く側の姿勢の大切さも知りました。

【活動⑤】クラスごとにわかれ、人差し指で支えながらフラフープを囲んでタイミングを合わせて一斉にしゃがむということに挑戦しました。これがなかなか難しく、クラスを一致団結させるため話し合い作戦を立ててどうにか成功しました。生徒から出た成功の秘訣は「絆、かけ声、ハッピーな気持ち」ということでした。これからも学園祭など学校生活や社会に出れば大きな挑戦がたくさん待っています。今回のように笑顔や建設的で活発な話し合いで乗り越えてくれることを期待しています。最後の学年全員でのチャレンジはあと一步のところで終わりましたが、少し目頭が熱くなっている先生もいました。

住吉浜リゾートパークは全室オートロック完備ですが、鍵を部屋に閉じ込めるトラブルは1件もなく、忘れ物や金銭トラブルもありませんでした。食事は食べ始める前に分け合い、出来るだけ残さないような場面があったり、「いただきます」の生徒号令に全員が声を揃えて挨拶し、貸し切りの建物中に響き渡りました。2日間に渡ってお世話になった施設や職員の方々には御礼を伝える場は限られますが、つねに態度・マナー・挨拶で感謝が伝わるような過ごし方を心がけました。この夏期合宿は全体として絆が深まり成長した充実の2日間で終わりました。生徒は最後まで明るく元気に楽しく頑張りました。ここで得た“失敗や課題”も“成功や絆”も今後の生活につなげていきます。保護者の皆様におかれましては、この度も学年・学校の取り組みへのご理解ご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



～部活動等結果報告～

陸上部

第62回大分県中学校総合体育大会

会場：レゾナックドーム大分

2年 矢野功一郎

7月23日(火) 二年男子1500m 記録：4.27.34 (3位)

7月24日(水) 共通男子3000m 記録：9.22.79 (5位)

前回の市総体より大きく記録を更新しました。本人にとって成長を感じる試合であると共に、これまでの思いがこみ上げてくるような試合だったと思います。私自身、観戦していて胸が熱くなるような素晴らしい試合でした。沢山の選手が走る中でとにかく懸命に前にせり上げ、最終的には集団の先頭を走ることができました。中々できないことです。最後まで一生懸命走る姿勢は、今後必ず結果として実ることだと思います。これからの活躍も期待しています。ありがとうございます。また、保護者の方々には暑い中、選手のサポートをしていただき心より感謝申し上げます。(顧問：有吉志穂)

中学男子テニス部

第62回大分県中学校総合体育大会

会場：大洲運動公園テニスコート

7/23(火) 個人戦シングルス

林下直矢 [1R] 7-5 [2R] 1-6

1回戦は、3-3. 4-4. 5-5とシーソーゲームが続く、流れがどこで変わるのか見守り続ける展開でした。6-5となった第12ゲームで相手のミスが2ポイント続きそのままたたみかけて7-5で制することができました。2回戦は、相手の選手に一方的に攻められるゲームが続きました。それでも後がない0-5のゲームで耐えて耐えて何とか返球し、相手のミスを誘い1ゲームをもぎ取りました。結果1-6でしたが、市総体を経て臨んだ今大会では、取り組みや表情に気合いが感じられ、勝つことも負けることも経験できたことは何よりのステップになると思います。酷暑の中、8時から15時までで辛さを感じさせない集中力は素晴らしいです。部活を終えた他の部員も応援にかけつけ、同じ時間を過ごせたことも良かったです。これからは期待します。(顧問：首藤麻琴)

中学女子テニス部

第62回大分県中学校総合体育大会

会場：大洲運動公園テニスコート

7/23(火) 個人戦シングルス

[1R] 松岡 4-6 豊島 2-6

[2R] 小野 0-6

強い日差しと高い湿度に晒される中、部員3名が県総体に出場しました。松岡は2ゲームを勝ち取ることができましたが、もうあと一歩が届かず。豊島は相手選手がクラブチーム所属ということもあり、練習量の差が出ました。小野は相手選手が第1シードというかなり格上となりましたが、ゲーム一つ一つをみると、相手のボールに上手く対応できていた場面も多かったです。総じて市総体とは異なり、より高いレベルが求められた試合でしたが、3名全員の成長を確実に感じられたものとなりました。市総体から県総体を経験できたことは必ずこの後の糧になります。次の一勝を期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては送迎・応援・差し入れなど、お忙しい中での様々なサポートありがとうございます。(顧問：加藤司)

中学卓球部

第62回大分県中学校総合体育大会

7/26(金) 男子個人戦(トーナメント形式)

2回戦敗退：藤谷

大分県下から総勢144名の猛者が集う大会で、そもそもこの中の1人に本校から選出されただけでも凄いことです。初戦突破を合言葉に、挑みました。会場には応援として同級生や後輩が来てくれ

て、心強かったと思います。1試合目は、3-0で完勝。サーブに苦戦しましたが、決めるべき所でしっかりと決めてくれました。2試合目は王者明豊中の3番手の選手が相手です。1点でも多く取るという目標を立てて挑みました。セットポイントは、0-3で完敗でしたが、2セット目は、7-11まで追い込むことが出来ました。強敵と挑む機会はあまりないので、良い経験になったと思います。

猛暑の中、応援・差し入れなど、保護者の方々のサポートに心から感謝します。(顧問：草本舜輔)

8/17(土), 18(日) 大分県卓球選手権大会兼全日本選手権大会大分県予選(カデットの部)

中学2年生が14歳以下の部(シングルス, ダブルス)に参加しました。

8/17(土)シングルス(トーナメント)

7月の市内予選を通過した2名(小寺(男子), 増田(女子))が出場しました。

・小寺：初戦敗退((ゲームカウント0-3)

3ゲームとも接戦となり、終盤振り切られたり、リードしていたがポイントを取られジュースになりゲームを落とすなどで惜しくも敗退しました。実力に大きな差のない相手でしたが、こ一番で粘り負けしました。

・増田：初戦勝利(ゲームカウント3-2), 2回戦敗退((ゲームカウント0-3)

1回戦は、実力に大きな差のない相手でした。ゲームカウント1-1後の第3ゲームをジュースの末、落として1-2。このまま試合の流れを持っていかれるかと思いましたが、良く粘って逆転して第4ゲームをとり2-2に。第5ゲームも接戦で11-8で取って、3-2で勝利しました。2回戦は、第5シードの選手との試合でした。実力差が大きく0-3で敗退しました。最後まで諦めずに対戦できました。

8/18(日)ダブルス(予選リーグ1位通過組で決勝トーナメント)市内予選はなく中2全員が出場しました。(男子3組, 女子2組)予選リーグ

男子：小寺・金丸組(1勝1敗), 岩尾・恵良組(2敗), 安倍・秦組(2敗)

女子：阿部・増田組(3敗), 松永・内藤組(2敗)

すべての組が予選リーグ敗退。どの組も最後まで諦めることなく戦いましたが、勝利には至りませんでした。

今回の大会で学んだことを10月上旬の新人戦にいかして欲しいと思います。保護者の皆様には、送迎や応援などサポートを頂き、ありがとうございます。(顧問：荒金正治)

インターアクトクラブ

7/28～29にかけて熊本県のあしきた青少年自然の家で第40回インターアクト年次大会が開かれました。今回は大分・熊本県の16校が参加しました(本校は高校2年生から代表9名が参加)。各校からこれまでの活動報告が発表されました。本校はスピーチ練習、タイムキーパー、画面操作、原稿編集など役割分担をして9名全員で準備にあたり、移動のバス車内でも練習に余念がありませんでした。その成果が十分に発揮され、素晴らしい発表を披露することができました。他校の発表もよい刺激になり、今後の活動内容の参考になりました。その他、ビーチ清掃、スポーツやクラブといったアクティビティ、他校生徒とのグループディスカッションなどを通じて、知見を広めながら交流も深めることができました。今後は、この大会で学んだことを校内インターアクトクラブ例会やロータリークラブの報告会のなかで発信していきます。保護者の方へ早朝の送り出しや参加へのご理解ご協力 感謝申し上げます。ありがとうございます。(顧問：河野智治)



～部活動等結果報告(つづき)～

中学サッカー部

JFA第30回全日本U-15フットサル選手権大会大分県大会

会場：佐伯市総合体育館

8/3(土) 1回戦 岩田中学4 - 3 MSSジュニアユース

2回戦 岩田中学4 - 0 MSSジュニアユースサテライト

ベスト4進出

8/4(日) 準決勝 岩田中学3 - 1 2リノスサッカークラブU15

中学3年生の7人だけで参戦しました。岩田中学以外はクラブチームばかりで中体連よりもレベルの高い大会でしたが、身体を張った守備からカウンターを狙い、少ないチャンスを点数に結びつける戦い方で勝ち上がり、まさかの準決勝進出を果たしました。準決勝の相手は九州チャンピオンになるようなチームで、技術、スピード、パワーの全てで圧倒され点差が開いてしまいましたが、最後まで全力で力を出し切っていました。フットサルは基本的に14人でベンチに入り、その14人全員が出入りを繰り返しながら戦うスポーツですが、今回は半分の7人だけで3試合を戦い、身も心もへトへトになりながら最後まで本当に良く戦ってくれました。この大会でベスト4に入れたことはかなりの評価に値すると思います。これからの成長に期待したいと思います。保護者の方々におかれましては、蒸し風呂のような暑さの中で多大なるサポートをして頂き誠にありがとうございました。

(顧問：野村哲也)

高校男子バスケットボール部

第39回私立高等学校体育大会

会場：レゾナック武道スポーツセンター

男子Cグループ (3チームリーグ戦)

8/20 (火)

岩田64-52福徳学院

岩田58-62日本文理大附属 (1勝1敗でグループ2位)

たった7名で1日2試合を戦うという過酷な状況でしたが、最後の最後までよく頑張りました。福徳学院戦では、オフェンスのリズムがよく、高確率でシュートを決めることができ勝利。日本文理大附属戦は、前半リードされるが後半DFの頑張りから巻き返し逆転、一進一退の展開に持ち込みました。なんとかくらいついていましたが、勝負所でシュートをことごとく外し、4点差での非常に悔しい敗戦となりました。「負け」から大きなことが学べた試合でした。今大会、岩田高校バスケット部員は、大会補助員として、会場準備・オフィシャル・片付け・その他で大切な役割を果たし、大会の運営を支えてくれました。これも貴重な経験となりました。

保護者の方々の応援・サポートに深く感謝致します。ありがとうございました。

(顧問：野田大樹)

高校女子バスケットボール部

第39回私立高等学校体育大会

会場：レゾナック武道スポーツセンター

女子Bグループ (4チームトーナメント戦)

8/20 (火)

岩田61-49昭和学園 岩田68-31楊志館 (2勝でグループ1位)

夏休み中は全員が揃っての練習がなかなか難しい状況でしたが、厳しい条件の中でも選手たちは見事にグループ1位を勝ち取りました。全員がよく頑張りました。昭和学園戦では、前半に10点上リードしましたが、後半には一時2点差まで詰められる厳しい

展開となりました。しかし、最後まで全員が粘り強くディフェンスを続け、速攻を繰り出すことで、最終的に10点以上の差をつけて勝利することができました。楊志館高校との試合では、厳しいディフェンスから、相手のミスを誘い、自分たちの得点につなげることができ、勝利を収めました。

また、女子は14名いるため、全員でタイムシェアすることができ、全員が試合に出場することができました。

今回の大会では、岩田高校バスケットボール部の部員が大会補助員として、会場準備、オフィシャル業務、片付け、その他の重要な役割を果たし、大会運営を支えてくれました。これもまた貴重な経験となりました。

最後に、保護者の皆様には応援とサポートをいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(顧問：牧野佳太)

高校テニス部

第39回私立高等学校体育大会

会場：レゾナックテニスコート

8/22(木)・8/23(金)

〈女子団体戦〉

1回戦 楊志館一岩田 (相手校選手不足のため勝ち上がり)

2回戦 福徳学院 2-0 岩田

〈男子団体戦〉

1回戦 楊志館 2-1 岩田

〈1年男子シングルス〉

1R 佐藤3-6 眞田0-6 安部/不戦勝 山口6-1 綿田3-6

2R 山口5-3(本人棄権) 安部5-6

〈2年男子シングルス〉

1R 三村6-0 上田3-6 岡田6-4 小野/不戦勝

2R 三村6-1 岡田2-6 小野0-2相手棄権

3R 小野0-6

〈1年女子シングルス〉

1R 金子2-6

〈2年女子シングルス〉

1R 穴井/不戦勝 阿南0-6 白水0-6 都甲0-6

2R 穴井0-6

〈1年男子ダブルス〉 1R 安部・眞田4-6 佐藤・綿田2-6

〈2年男子ダブルス〉 1R 小野・岡田2-6 上田・三村0-6

〈2年女子ダブルス〉 1R 阿南・穴井0-6 都甲・白水0-6

終日灼熱のコートでした。途中、熱発や足をつるなど体調を崩す部員もいましたが、暑さと照り返しの中でも部員一同全力で戦ってくれました。やはり、強者にはまだまだ力及ばず。。あまり思うようにいかない結果となりましたが、対戦で得られた経験は学び多く、大変貴重なものになりました。相手選手の様々な技術を見て感じて吸収し、次の試合ではそれを最大限活かせるように全力でサポートしていきたいです。勝ち負けに限らず、夏の暑い中でプレーをする楽しさを感じ取れる良い試合になったと思います。また、今大会は岩田高校の部員が大会の補助員として、朝早くから準備運営を支えてくれました。準備や運営側はなかなか慣れないものですが、臨機応変に対応しながら大切な役割を果たすことができ、彼らにとって貴重な経験となりました。

最後に、保護者の皆様には大変暑いところ、送迎と力強く応援・サポートしていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(顧問：小野るな)

～部活動等結果報告(探究部メタバース班 東京遠征)～

【東京遠征・行程】

1日目

【訪問先】アジアクエスト株式会社

【概要】岩田OBが取締役を務める上場企業 - 会社見学とヒアリング
アジアクエスト株式会社はDXなどの領域で活躍する会社で、当日は会社概要の説明やオフィスの見学をさせて頂きました。

【訪問先】株式会社モンドリアン

【概要】メタバース業界についてのヒアリング及び質問
モンドリアンはオープンハウスの子会社でメタバース関連の会社です。当日は会社概要の説明やオフィスの見学をさせて頂きました。

2日目

【訪問先】参議院議員会館

【概要】こども家庭庁と対談
当日は参議院議員会館にて、子ども家庭庁のヤングケアラーの対応課の方々にヒアリングを行いました。

【訪問先】国会議事堂

【概要】国会議事堂内の見学と昼食
国会内にある国会議員が使う食堂にて食事をしたのち、国会議事堂を見学しました。

【訪問先】EAGLYS株式会社

【概要】会社見学と対談
EAGLYS株式会社は早稲田大学大学院出身のAI系のベンチャー企業で、アリババのジャック・マー代表と会談するなど注目度の会社です。当日は会社概要の説明やオフィスの見学をさせて頂きました。

3日目

【訪問先】在京ポルトガル大使館

【概要】大使館の見学と対談
ポルトガル大使館内の見学とポルトガルの文化や歴史などについての講演をして頂き、なんと領事が来て下さいました。

【訪問先】早稲田大学 早稲田キャンパス

【概要】大学の見学・現役大学生との対談
現役の早稲田大学の学生との対談を行い、早稲田大学内を見学しました。

～保健室より～



まだまだ、暑い日が続いています。引き続き熱中症対策をお願いいたします。クーラーボックスや熱中症対策グッズを学校に持参していただけるようお願いいたします。必ず水筒を持参してください。

こまめな水分補給をしましょう	特に朝食を必ずとりましょう	十分な睡眠をとりましょう

クーラーボックス 	保冷剤 冷凍ペットボトル 	飲料水 	帽子
ハンディーファン 	ネッククーラー 	クールタオル 	

AIG高校生外交官渡米プログラムに選抜!



5年4組
室 ほのかさん



全国約900名の応募者のうち、「渡米プログラム(20名)」と「日本プログラム(20名)」があり、5年4組の室ほのかさんは「渡米プログラム」の20名に選出されました。7/14~7/30までアメリカの公的機関を訪問し、担当者と英語で質疑応答したり、10日間米国の高校生と共同生活をし、様々なテーマでのディスカッションを行ったりしました。帰国後の8/21(水)には、このプログラムの参加報告会が県庁で開かれ、プレゼンテーション資料を作成し、立派に知事への報告を行いました。☆8月21日のOABニュース、8月25日の合同新聞でも紹介されました。



~総務より~

総務主任 堀 寿瑞代

真夏の寺子屋

7/23~7/30の7日間に、教室を開放して、大分大学の医学部生に来てもらい、学習に対する質問や大学受験のアドバイス等を行っていただきました。参加者数は、1日平均22名程度でしたが、参加した生徒は夏休みの課題を進めるなどしながら1学期の復習に取り組んでいました。久しぶりの実施となり、日程等のお知らせが遅くなったことをお詫びいたします。今年度の反省をもとに、来年度の実施についても考えていこうと思います。保護者会費を活用させて頂き、ありがとうございました。



私学フェスタ

8/8(木)に大分市のコンパルホールにて、大分県内の私立学校について中学生に紹介しようという目的のイベントが行われました。本校からは、ステージ発表にギター部が出演し、「いつも何度でも」と「アンダー・ザ・シー」を演奏しました。また体験ブースでは、探究部メタバース班によるアバター作成などを行っていただきました。この私学フェスタには、約40名からなる生徒の実行委員会もあり、その実行委員長を5-2衛藤羽奈さん、副委員長を5-2笠岡百恵さん、実行委員を5-1関結日さん、5-3此本菜央さんが務めました。他校の生徒とオンライン会議等を行い、約半年をかけてイベントの準備に取り組み、エンディングでは全員によるダンスを披露して会を閉じました。

← 実行委員の4名

10月5日(土)・11月10日(日)に入試説明会を実施します。



第1回入試説明会		第2回入試説明会	
10/5	11/10	11/5	3/20
10:30~11:30 + 公開授業(9:55~10:15) 申込申し込みQRコードから	10:30~11:30 + 公開授業(9:55~10:15) 申込申し込みQRコードから	11:50~12:00 申込日: 1/21 学校説明日: 1/28	11:50~12:00 申込日: 1/21 学校説明日: 1/28
10/5	11/10	1/4	2/6
10:30~11:30 + 公開授業(9:55~10:15) 申込申し込みQRコードから	10:30~11:30 + 公開授業(9:55~10:15) 申込申し込みQRコードから	11:22~12:13 申込日: 1/4 学校説明日: 1/20	1:08~2:14 申込日: 2/6 学校説明日: 2/20(AM3:30)

9月の行事予定

9/6(金)	答案返却	9/17(火)	振替休日(9/15)
9/7(土)	学力推移調査(中1・2) 修学旅行説明会(高2)	9/21(土)	休業日
9/8(日)	第2回到達度試験(国数) (6年APU)	9/22(日)	秋分の日
9/11(水)	学園祭前夜祭(体育館)	9/23(月)	振替休日
9/12(木)	学園祭1日目	9/25(水)	起業事前学習 (高2IWATA)
9/13(金)	学園祭2日目	9/27(金)	交通安全教室(1~5年)
9/14(土)	学園祭3日目(午後ホール)	9/28(土)	第1回審査会
9/15(日)	芸能祭4日目(午前ホール)	9/29(日)	英検(岩田学園)
9/16(月)	敬老の日		

◆体育大会のDVDとBDが出来上がりました!
実力考査が終わりましたら、生徒へ配布予定です。

現在フォロワー数 1416名



〒870-0936
大分市岩田町1-1-1
学校法人岩田学園

電話 097(558)3007
Fax 097(556)8937
Email iwata@iwata.ed.jp
HP https://www.iwata.ed.jp



Instagram



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校